公認山岳（アルパインクライミング）コーチ2
資格概要

2019年4月1日現在

主催			公益財団法人日本スポーツ協会 公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
養成目的			都道府県レベルにおいて、登山者全体に積雪期、無雪期を問わず安全な登山が指導出来る指導者を養成する。
役割			都道府県レベルでの登山全体の普及に努める本州3,000m級山岳地帯において積雪期登山のリーダー候補者に指導が出来ること。
養成講習会に係る内容	受講条件		受講年度の４月１日現在満25歳以上で都道府県山岳連盟（協会）が認めるもので下記条件の全てを満たす者。 （1）本州なら3000m級山岳地帯において積雪期登山のリーダー候補者に指導ができると判断された者。 （2）４級以上の岩壁登攀のリーダー候補者に指導ができると判断された者。
	受講科目	共通科目	共通科目Ⅱ（135h）
		専門科目	コーチ2専門科目（40h）　※別紙カリキュラム表参照
	受講料	共通科目	共通科目Ⅱ：17,600円（税込）※別途リファレンスブック代
		専門科目	専門科目：実施団体が定める
	実施方法	共通科目	別に定める共通科目実施要領に基づき日本スポーツ協会が実施する
		専門科目	■講習会 カリキュラム（40時間）に基づき、都道府県山岳連盟（協会）を主管として集合講習会と通信講習（レポート）により開催する。実際の実施計画については都道府県連盟（協会）と都道府県体育協会で相談の上、JSPOとJMSCAの承認を得て実施する。 ■検定試験 JMSCA指導委員会が作成したものを参考に各都道府県の実情に合わせ作成・出題し、筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定とする。 ■審査 合格者の判定は筆記試験、レポート評価、技能検定の総合判定結果を基に、JMSCA指導委員会で審査の上、原則として満点の6割以上を合格とする。 ■免除要件
登録に係る内容	登録料 （4年間）		基本登録料：10,000円
			資格別登録料：　　円
			初期登録手数料（初回登録時のみ）：3,300円
	更新登録要件		資格登録有効期限の6か月までに、最低1回は、JMSCAが定める研修会またはJSPO（都道府県体育協会が実施する（認める）研修を含む）が実施する研修を受けなければならない。
特記事項			

公認山岳（アルパインクライミング）コーチ2

2019年4月1日現在

区分	カリキュラム内容		時間数		
	No.	科目	集合	その他	計
① 基礎理論 （登攀・氷雪を中心に）	①	登山医療（健康管理・救急法）、ﾅﾋﾞｹﾞｰｼｮﾝ技術、気象と天気図等	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	②	登山計画、生活技術	0.00 h	1.00 h	1.00 h
	③	登攀技術（確保理論）	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	④	積雪期の登山技術(歩行技術を中心に。歩行･滑落停止･隔時登攀の基本)	2.00 h	0.00 h	2.00 h
	⑤	遭難対策(危険の回避、事故発生時の対応、セルフレスキュー)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	⑥	指導者制度、指導者の役割(指導者制度、法律:リーダーの法的責任)	1.00 h	0.00 h	1.00 h
	小　計		6.00 h	4.00 h	10.00 h
② 実技・指導実習 （登攀・氷雪）	①	登攀用具（ロープ、ハーネス、ビレイデバイスなど）	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	②	無雪期の隔時登攀（トップの確保、ランニングビレイ、後続者の確保など）	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	③	制動確保（アンカー、体勢、ロープ操作上の注意他）	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	④	懸垂下降（下降準備、下降動作、着地とロープの回収）	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	⑤	岩場のｾﾙﾌﾚｽｷｭｰ（事故発生時の対応、収容・搬出、搬出法など）	2.00 h	2.00 h	4.00 h
	⑥	氷雪技術（アイゼン、ピッケル、スノーピケット、ビーコンなど）	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑦	雪上歩行（傾斜面の直登下降、斜め登下降とトラバースなど）	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑧	滑落停止・耐風姿勢（停止動作、停止後の処置、初期停止など）	1.00 h	1.00 h	2.00 h
	⑨	積雪期の隔時登攀（トップの確保、後続者の確保、SAB	3.00 h	2.00 h	5.00 h
	⑩	雪山のｾﾙﾌﾚｽｷｭｰ(雪崩対策、捜索、収容、搬出)	1.00 h	2.00 h	3.00 h
	小　計		14.00 h	16.00 h	30.00 h
			20.00 h	20.00 h	40.00 h